

今月のテーマ

タイヤの脱落に注意しましょう！

トラックやバスなど大型車のタイヤが脱落する事故が毎年2、3月に多発しているとする調査結果が19日に国土交通省から発表されました。2010年までの12年間で起きた事故の約3割がこの両月に発生しています。スタッドレスなど冬用タイヤの装着ミスが主な原因とみられています。同省は適切な取り付けや装着後の点検を徹底するよう呼びかけています。

脱落原因

タイヤ脱落事故が冬場に集中する原因について、国土交通省は「**冬用タイヤの装着ミス**」を指摘しています。北海道江差町で大型ダンプのタイヤが脱落、男児が死亡する事故が起きた04年に実施した調査（97件の脱落事故が対象）では、判明した事故原因のうち「**ボルトの締め付け不足**」が25%で最も多く、逆に「**過度な締め付け**」でボルトが変形、折れて脱落したケースも5%あった。

また、**締め付けに使うボルトはホイールの材質によって長さや形状が異なり、この組み合わせが不適切なまま取り付けられた例も7%**に上ったという。

スタッドレスなど冬用タイヤは降雪や路面凍結に備え、毎年10～12月ごろに取り付けるのが一般的。国土交通省自動車交通局整備課では「走行中の振動などでボルトが徐々に劣化し、最終的に破損して2、3月のタイヤ脱落につながった」と指摘している。「**適切な部品と工具を使った取り付けや日常点検**」を徹底しましょう。



観光バスの運転手が死亡した東名高速のタイヤ脱落事故（08年4月、静岡県牧之原市）＝共同日本経済新聞より

ホイール・ボルトに関する点検の再確認を

【日常点検：ディスク・ホイールの取付けの状態】

実施方法：ホイール・ナットの脱落・緩み、ホイール・ボルト折損等に関する目視点検及びハンマー等による点検をすること。

【3ヶ月点検】

実施方法：規定トルクでホイール・ナットを締め付けること等注意。

【12ヶ月点検：ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷】

実施方法：ディスク・ホイールを取り外してホイール・ボルトの亀裂、損傷等を点検すること、ディスク・ホイールを取り付ける際は規定トルクでホイール・ナットを締め付けること等注意。

【タイヤ交換時】

実施方法：ディスク・ホイールを取り付ける際は規定トルクでホイール・ナットを締め付けること、ディスク・ホイールの種類に合ったホイール・ボルトとホイール・ナットを使用すること（誤組み合わせないこと）等注意。

発行者

上杉行政書士事務所 代表 上杉 麻美
神奈川県横浜市旭区左近山16-1 1-30-806
TEL&FAX 045-442-3592

行政書士法人シグマ 代表社員 阪本 浩毅
東京都中央区銀座一丁目13番1号
ヒューリック銀座一丁目ビル4階
TEL 03-6868-7256 FAX 03-6800-3604

ご用命・ご相談がございましたらお気軽にお問合せ下さい

一般社団法人 運輸安全総研トラバス
Mail tb@trubus.org ホームページ <http://trubus.org/>

